会則の改定(案)

会則の一部改定新旧対照表 (下線は変更部分を示す。)

現 行	改正	摘要
第4条 本会は本部を東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科治山・緑化工学研究室内に置く。	第4条 本会は本部を東京農業大学地域 環境科学部森林総合科学科 <u>治山緑化</u> 工学 研究室内に置く。	名称の変更
第 6 条 本会の会員は次のとおりとする。 (1) 正会員 本会の目的に賛同する個人 (2) 賛助会員 本会の事業を賛助する団体 (3) 購読会員 会誌の購読のみを目的とする団体、または個人 (4) 学生会員 大学(大学院、短大を含む)、高等専 門学校に在籍している個人 (5) 名誉会員 緑化に関し、または本会に特に功績 のあった者で、総会の議決をもって推挙された者	第 6 条 本会の会員は次のとおりとする。 (1) 正会員 本会の目的に賛同する個人 (2) 賛助会員 本会の事業を賛助する団体 (3) 学生会員 大学(大学院、短大を含む)、高等専 門学校に在籍している個人 (4) 名誉会員 緑化に関し、または本会に特に功績 のあった者で、総会の議決をもって推挙された者	を削除し、号番
第 7 条 本会の会費は次のとおりとする。 (1) 正会員 年額 8,000 円 (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上 (3) 購読会員 年額 8,000 円 (4) 学生会員 年額 4,000 円 (5) 名誉会員 会費を納めることを要しない	第 7 条 本会の会費は次のとおりとする。 (1) 正会員 年額 8,000 円 (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上 (3) 学生会員 年額 4,000 円 (4) 名誉会員 会費を納めることを要しない	講読会員の廃止 に伴い現行(3) を削除し、号番 号を繰り上げ
第8条本会の会員になろうとする個人または団体は、入会申込書を会長に提出し理事会の承認を受けなければならない。 2.入会者は所定の入会手数料および入会年度の年会費を納入しなければならない。	第8条本会の会員になろうとする個人または団体は、入会申込書を会長に提出し理事会の承認を受けなければならない。 2.入会者は所定の入会手数料及び入会年度の年会費を納入しなければならない。	文言の統一

現 行	改正	摘要
 第 21 条 総会は次の事項を議決する。 (1) 事業計画及び収支予算 (2) 事業報告及び収支決算 (3) 会則の変更 (4) 総会で必要と認めた事項 (5) その他会長が付議した事項 	 第 21 条 総会は次の事項を議決する。 (1) 事業計画及び収支予算 (2) 事業報告及び収支決算 (3) 会則の変更 (4) 総会で必要と認めた事項 (5) 解散及び合併 (6) 役員の選任及び解任 (7) その他会長が付議した事項 	基本事項の追加
(理事担当) 第 34 条 (略) 2. (略) 3. (略)理事会は第 2 条に定める本会の事業を推進するため、以下の委員会を常置するほか必要な場合には臨時委員会を設けることができる。委員会に関する規定および委員は理事会で定める。委員の任期は役員の改選期に準じた 2 年とし、再任を妨げない。 (1)編集委員会 (2) 学会賞選考委員会 4. ~6. (略) 7. 各部会および委員会には、会務の執行を円滑に行うため、幹事を置く。幹事は正会員の中から部会長、委員長が推薦し、理事会で定める。	(理事担当) 第 34 条 (略) 2. (略) 3. (略) 理事会は第 2 条に定める本会の 事業を推進するため、以下の委員会を常置 するほか必要な場合には臨時委員会を設 けることができる。委員会に関する規定及 び委員は理事会で定める。委員の任期は役 員の改選期に準じた 2 年とし、再任を妨 げない。 (1) 編集委員会 (2) 学会賞選考委員会 4. ~6. (略) 7. 各部会及び委員会には、会務の執行を 円滑に行うため、幹事を置くことができ る。幹事は正会員の中から部会長、委員長 が推薦し、理事会で定める。	文言の統一 文言の統一 実態に即するため
(事業部門:総会部会) 第 35 条 総務部会の担当事項は次のとおりとする。 (1)会員の入退会に関すること (2)総会及び理事会に関すること (3)評議員会に関すること (4)関係団体との連絡調整に関すること (5)名誉会員の推挙に関すること (6)日本緑化工学会賞に関すること (7)その他必要な事項	(事業部門:総務部会) 第 35 条 総務部会の担当事項は次のとおりとする。 (1)会員の入退会に関すること (2)総会及び理事会に関すること (3)評議員会に関すること (4)関係団体との連絡調整に関すること (5)名誉会員の推挙に関すること (6)日本緑化工学会賞に関すること (7)日本学術会議に関すること (8)その他必要な事項	誤植の修正 実態に即するた め

現 行	改正	摘要
第 37 条 企画・事業部会の担当事項は次	第 37 条 企画・事業部会の担当事項は次	
のとおりとする。	のとおりとする。	
(1) ~ (3) (略)	(1) ~ (3) (略)	
(4) その他要な事	(4) その他 <u>必要</u> な事	誤植の修正
(事業部門:編集部会)	(事業部門:編集部会)	
第 38 条 編集部会の担当事項は次のと	第 38 条 編集部会の担当事項は次のと	
おりとする。	おりとする。	
(1) 学会誌、その他刊行出版物に関する	(1) <u>学会誌の刊行</u> に関すること	実態に即するた
こと	(2) その他必要な事項	め
(2) その他必要な事項		
第 39 条 学術国際交流部会の担当事項	第 39 条 学術国際交流部会の担当事項	
は次のとおりとする。	は次のとおりとする。	
(1) 日本学術会議に関すること	(1) <u>英文誌 LEE の刊行に関すること</u>	実態に即するた
(2) 国際学術交流に関すること	(2) 国際学術交流に関すること	め
(3) その他必要な事項	(3) その他必要な事項	